

# 自己評価まとめ

## 教育目標

- すすんで学び、高い知性を身につけよう
- ◎社会の一員として、思いやりのある人になろう
- 希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう
- からだをきたえ、健康な人になろう

## 目指す学校像

- (1) 教師も生徒も授業を大切にし、学び合い・育ち合いができる学校
- (2) 思いやりのある豊かな心が育まれ、生徒が生き生きと活動できる学校
- (3) 学校が地域に開かれ、家庭・地域とともにある信頼された学校

## 1 自己評価概要

### 成果

- 生徒が楽しく学校生活を送ることができるよう指導することができている。
- 生徒が安心して過ごすことのできる学級・集団作りに取り組むことができている。
- 情報発信に関して、昨年度と比較して保護者の肯定的回答の大幅な上昇がみられた。

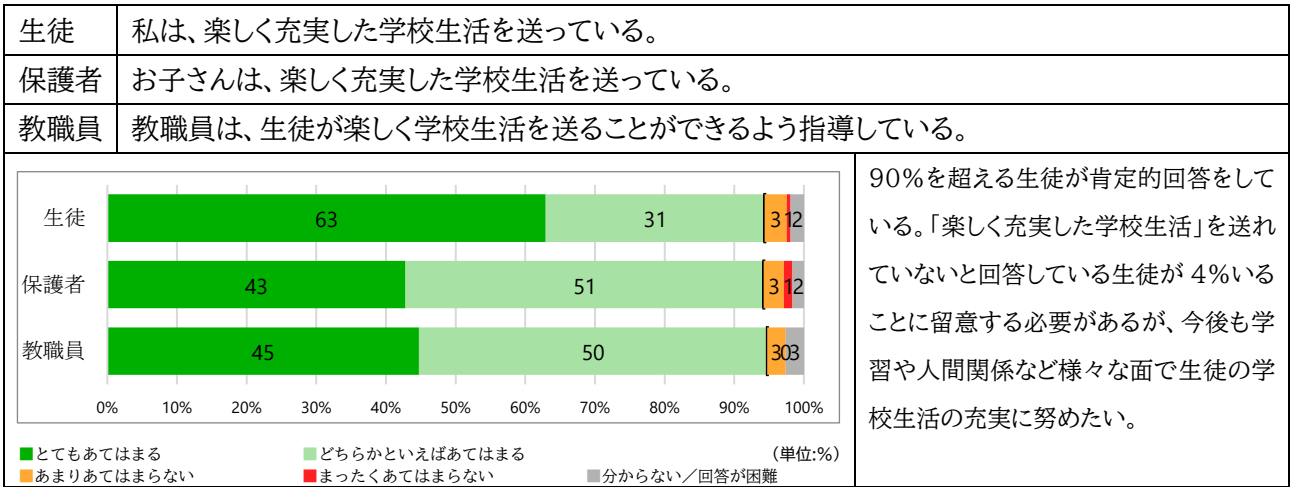
### 課題

- ▲ 生徒の興味・関心を高め、生徒に考えさせ、生徒に力を付ける授業を展開することについて、一層の工夫・改善が必要である。
- ▲ 1年の段階から生徒に将来自分が果たす役割や職業観を考えさせる機会を意図的・計画的に設け、体験的な学習機会を設定するとともに、家庭においても生徒のキャリア形成について考える機会を設ける必要がある。

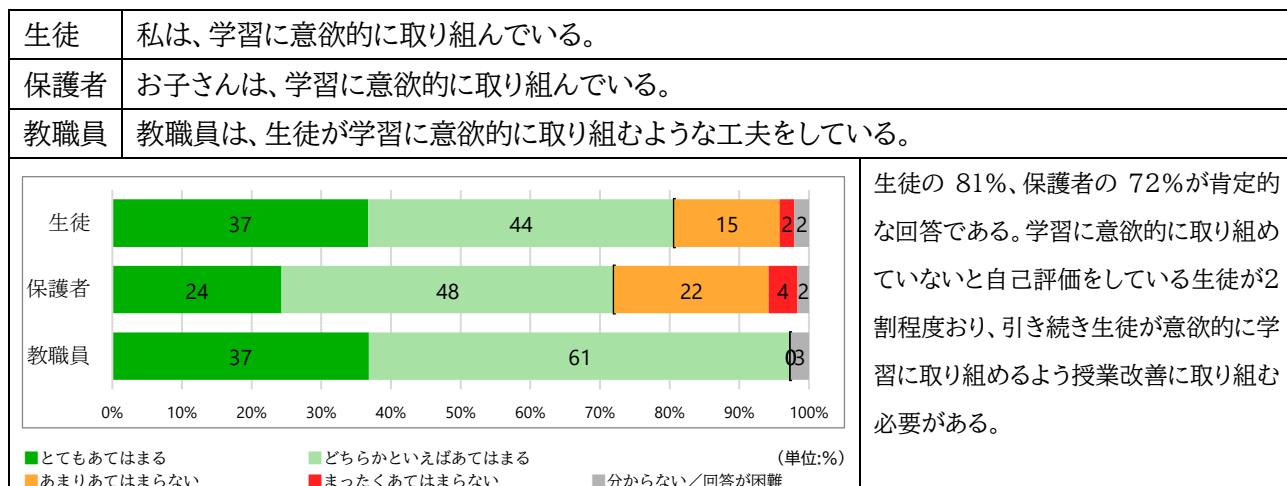
## 2 各設問の回答状況と分析

注：以下、分析において肯定的回答とは「とてもあてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせたもの、否定的回答とは「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を合わせたものである。

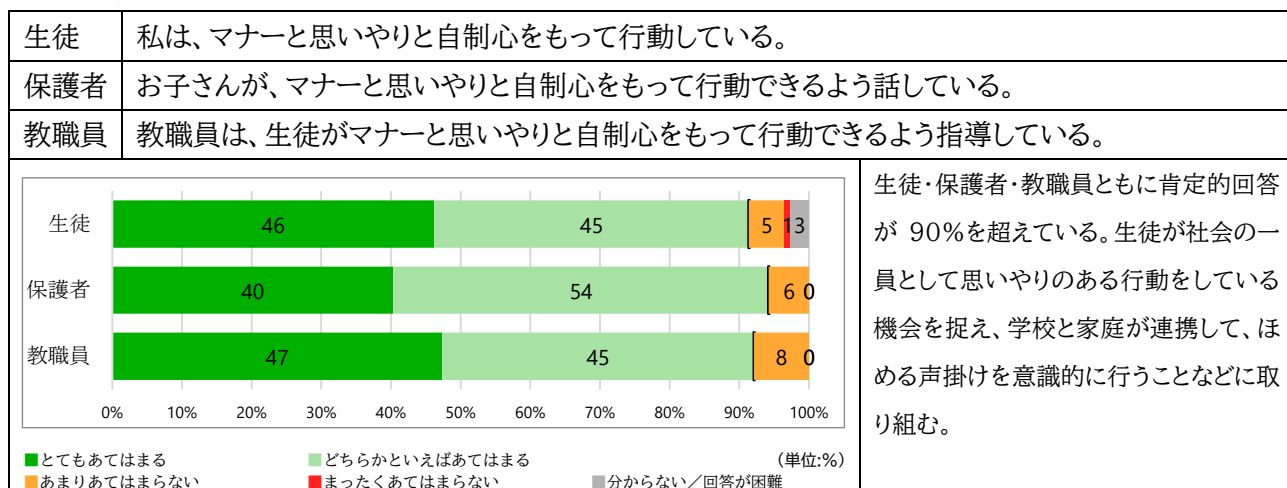
### 設問1 楽しい学校



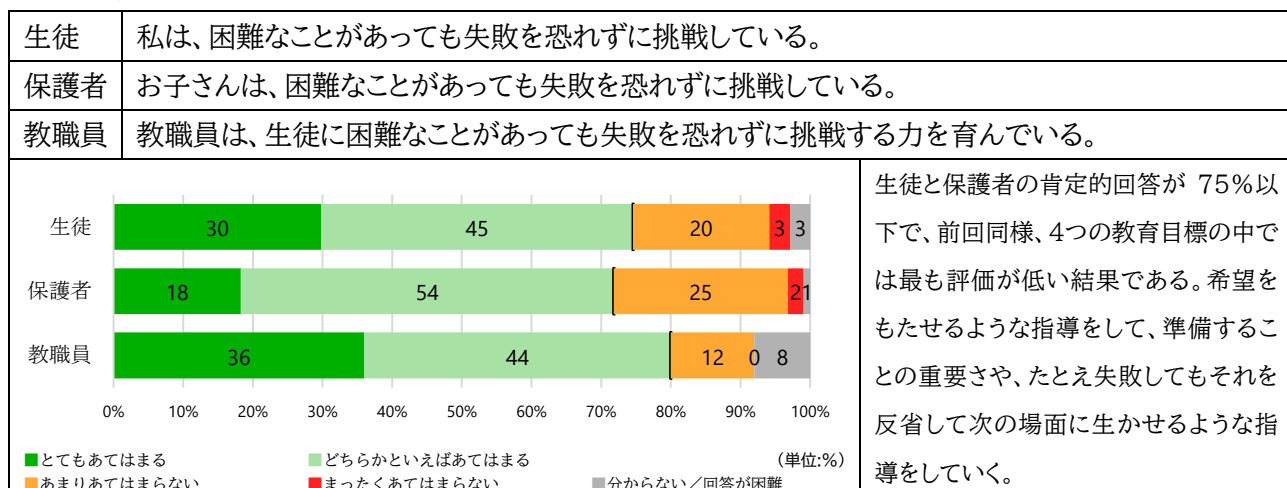
## 設問 2 教育目標1 すすんで学び、高い知性を身につけよう。(知)



## 設問 3 教育目標2 社会の一員として、思いやりのある人になろう。(情)



## 設問 4 教育目標3 希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう。(意)



### 設問 5 教育目標4 からだをきたえ、健康な人になろう。(体)

生徒	私は、体育の授業などで運動に取り組んで体力が向上し、健康に過ごすことができている。
保護者	お子さんは、体力向上に取り組み、健康に過ごすことができている。
教職員	教職員は、生徒が体力向上に取り組み、健康に過ごせるようにしている。

生徒	50	36	11	2
保護者	36	46	15	3
教職員	24	61	8	3

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ とてもあてはまる      ■ どちらかといえばあてはまる      (単位:%)  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない      ■ 分からない/回答が困難

生徒・保護者・教職員ともに肯定的回答は 80%以上であるが、「とても～」の回答割合に大きな差がみられる。教職員においては、担当教科や担当部活動による影響と考えられる。

### 設問 6 授業変革

生徒	学校の授業は、わかりやすい。
保護者	お子さんは、授業の内容を理解できている。
教職員	教職員は、授業の中で ICT や図書を効果的に活用するなどして授業変革に取り組んでいる。

生徒	36	49	10	1	4
保護者	23	47	22	6	3
教職員	11	58	32	0	0

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ とてもあてはまる      ■ どちらかといえばあてはまる      (単位:%)  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない      ■ 分からない/回答が困難

前回と比べ、教職員で肯定的評価が 5 ポイント上昇し、「まったく～」がなくなった。ICT を効果的に活用すること等による授業変革には、昨年度来取り組んでおり、教職員の意識の変化がうかがえる。より分かりやすい授業に向け、引き続き取り組んでいく。

### 設問 7 主体的・対話的で深い学び

生徒	私は、授業中の様々な活動を通して自ら課題を見付け、自ら考えることを意識して授業に取り組んでいる。
保護者	お子さんには、自ら課題を見付け、自ら考える力が育っている。
教職員	教職員は、生徒の興味・関心を高め、生徒に考えさせ、生徒に力を付ける授業を展開している。

生徒	33	45	15	3	4
保護者	16	40	36	6	1
教職員	26	63	5	0	5

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ とてもあてはまる      ■ どちらかといえばあてはまる      (単位:%)  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない      ■ 分からない/回答が困難

傾向は前回同様であるが、生徒と教職員で肯定的回答の割合が増加している。生徒が様々な活動を通じて自ら課題を見付け、自ら考えて探究的に課題に取り組む活動を取り入れた授業改善を図るとともに、また、その実践や成果を積極的に保護者に発信していく。

### 設問 8 温かな学級・集団づくり

生徒	私は、学校で安心して過ごすことができている。
保護者	お子さんは、安心して学校生活を送ることができている。
教職員	教職員は、気になる生徒に声をかけるなど、生徒が安心できる温かな学級・集団づくりに努めている。

生徒	60	31	7	11						
	49	42	7	21						
	42	55	3	30						
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%

■ とてもあてはまる      ■ どちらかといえばあてはまる      (単位:%)  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない      ■ 分からない/回答が困難

前回と比較して、教職員の肯定的回答の割合が大きく増加している。毎月のいじめに関するアンケートや、WEB-QUによる学級のアセスメントなどを活用し、生徒が安心して過ごすことのできる学級・集団作りに取り組んでいることの成果ととらえたい。

### 設問 9 協働

生徒	私は、学校生活の中で、同じ目的をもつ仲間とともに、協力して活動することができている。
保護者	お子さんは、学校生活の中で、同じ目的をもつ仲間とともに、協力して活動することができている。
教職員	教職員は、生徒が学校生活の中で、同じ目的をもつ仲間とともに協力して活動できるように指導している。

生徒	57	35	5	13						
	44	46	5	13						
	39	53	3	3						
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%

■ とてもあてはまる      ■ どちらかといえばあてはまる      (単位:%)  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない      ■ 分からない/回答が困難

肯定的回答の割合は生徒・保護者・教職員ともに 90%を超えている。「とても～」の割合で差がみられ、生徒は半数以上が、同じ目的をもつ仲間とともに、協力して活動することができている。

### 設問 10 道徳教育

生徒	道徳で学んだことを普段の生活の中で意識することがある。
保護者	お子さんは、道徳で学んだことを家庭で話題にすることがある。
教職員	教職員は、ローテーション道徳など、道徳の授業や道徳教育を通じて生徒の健全育成に取り組んでいる。

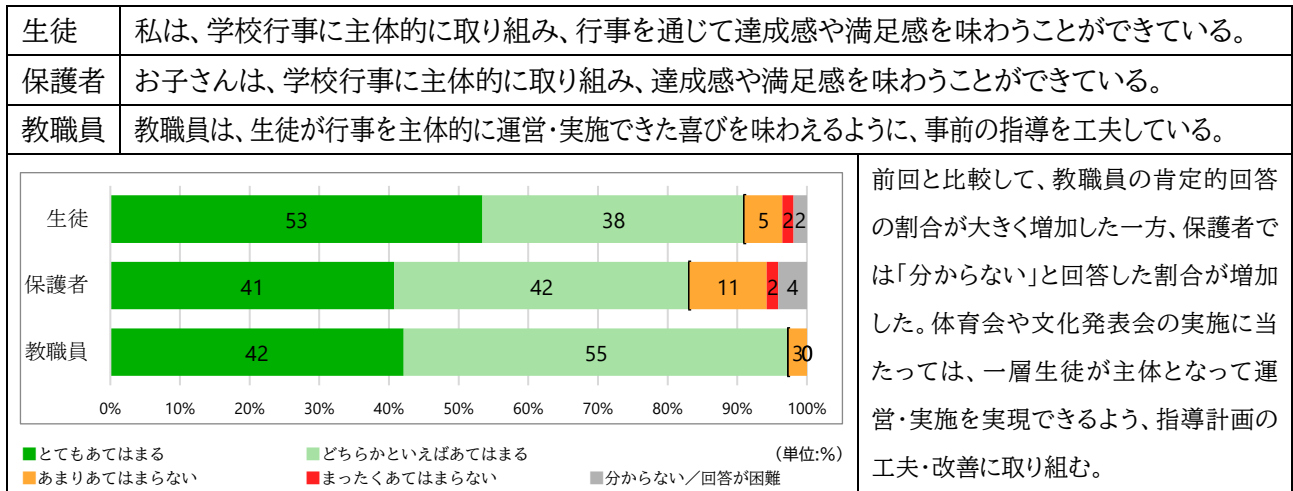
  

生徒	34	43	14	4	5					
	10	30	41	16	2					
	39	39	21	0	0					
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%

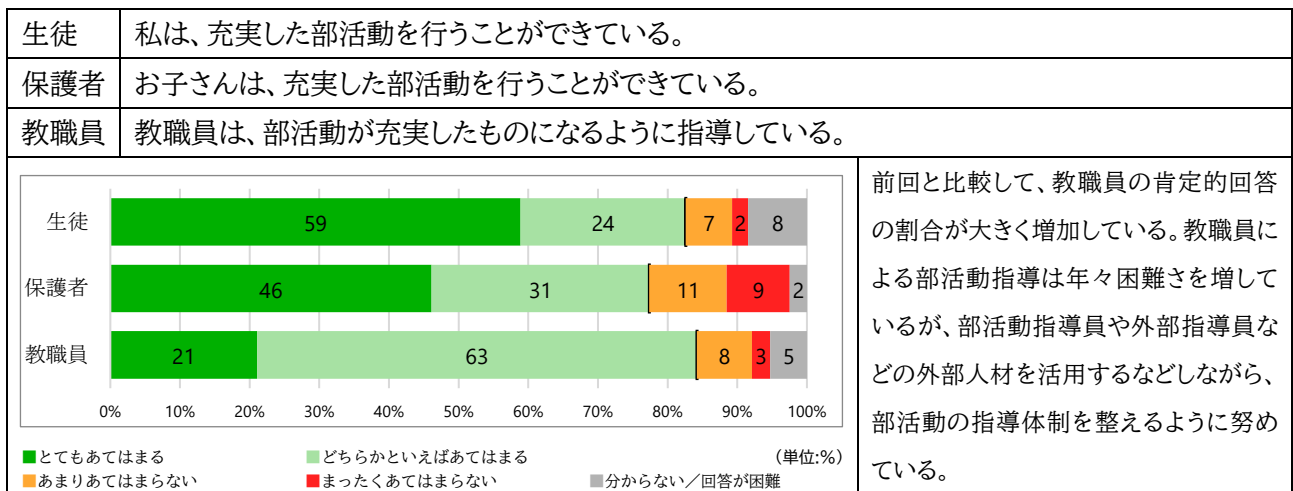
■ とてもあてはまる      ■ どちらかといえばあてはまる      (単位:%)  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない      ■ 分からない/回答が困難

教職員は昨年度と比較して道徳教育に対する意識が大きく変化している。一方、保護者は設問を「お子さんが普段の生活の中で意識している」から「家庭で話題にすることがある」に変えたことから、肯定的評価が低くなったと考えられる。

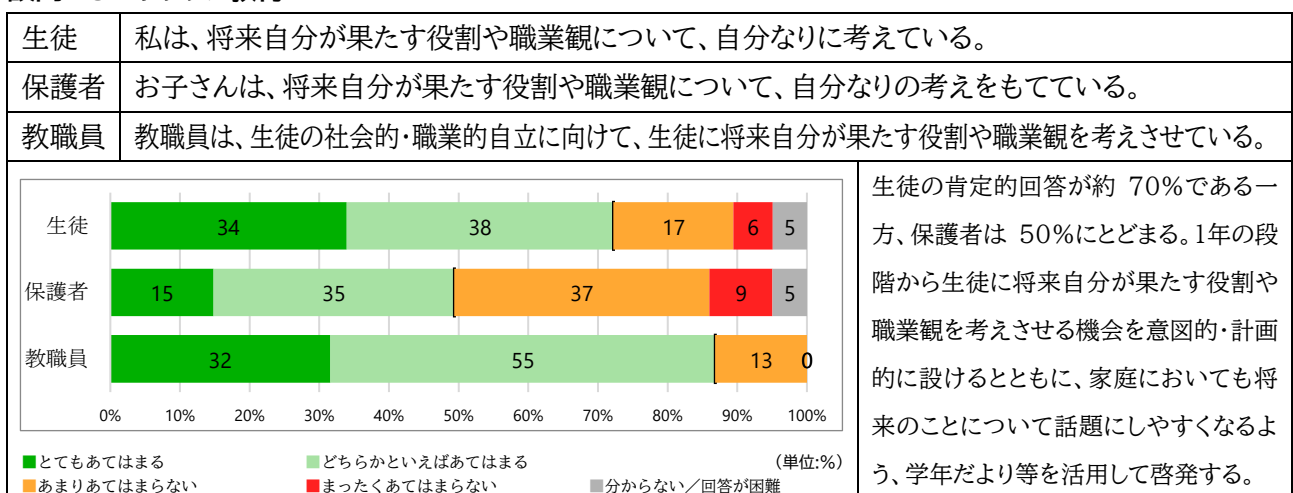
### 設問 11 学校行事



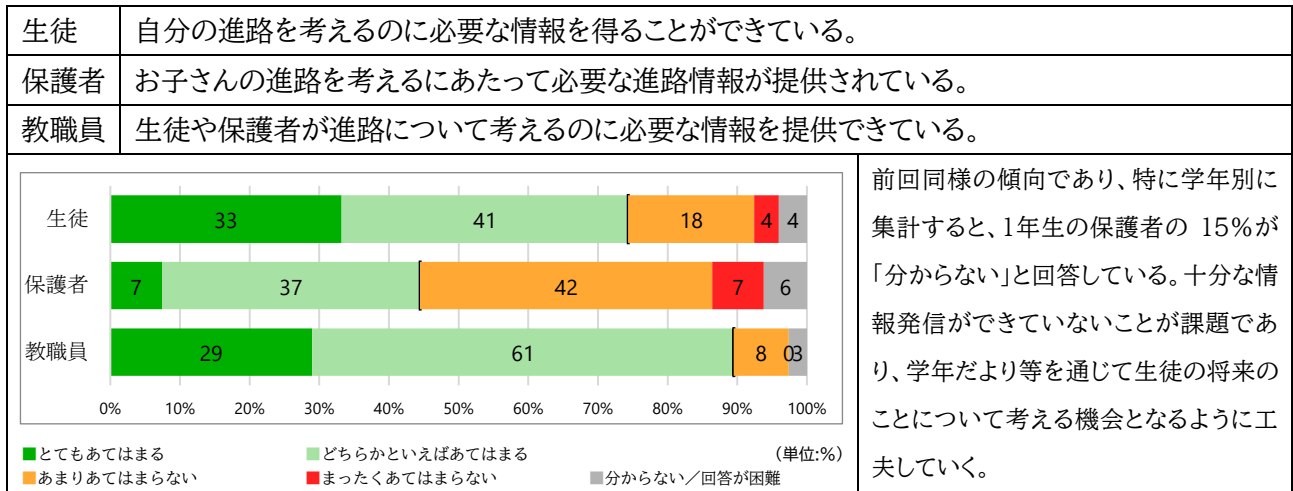
### 設問 12 部活動



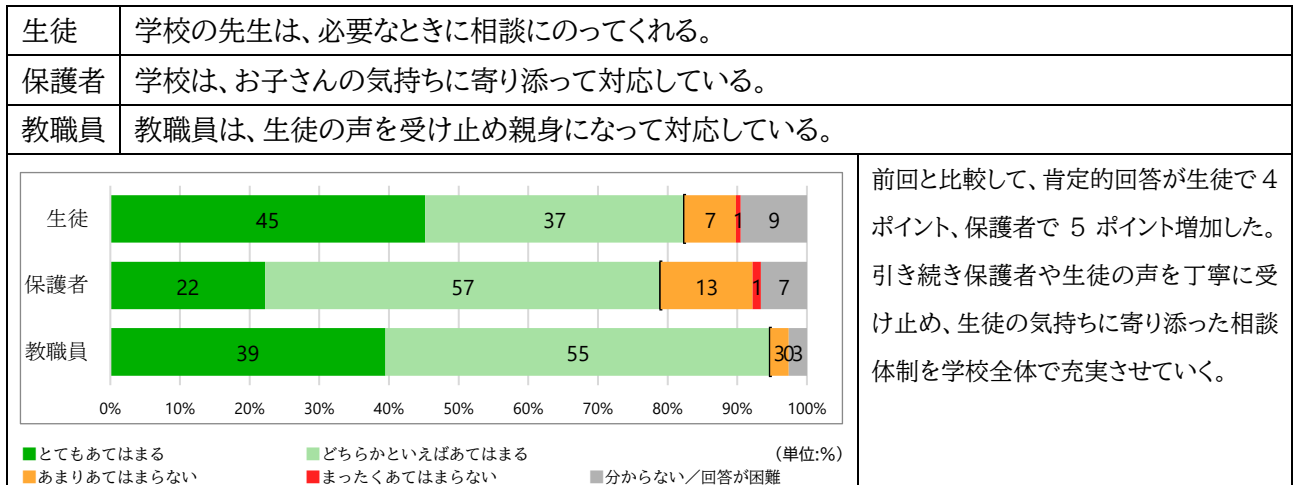
### 設問 13 キャリア教育



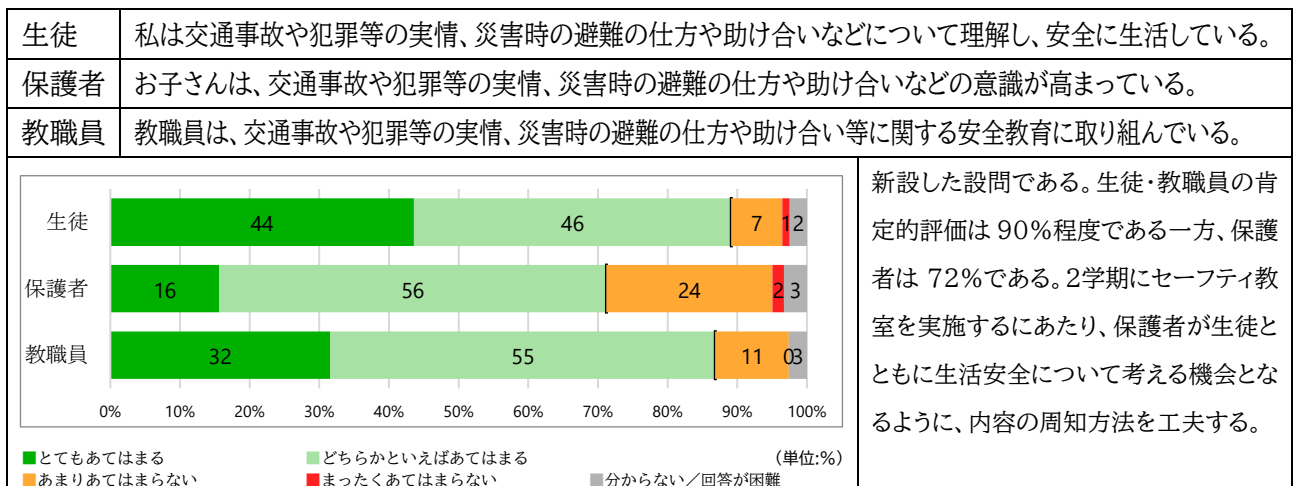
### 設問 14 進路指導



### 設問 15 教育相談



### 設問 16 安全教育



### 設問 17 情報発信

生徒	私は、学校の様子を常に保護者に伝えている。
保護者	学校は、学校の様子をホームページやたよりで伝えている。
教職員	教職員は、保護者への必要な情報の発信に努めている。

生徒	40	35	17	5	3
保護者	31	56	9	2	22
教職員	32	63	3	0	3

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ とてもあてはまる      ■ どちらかといえばあてはまる      (単位:%)  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない      ■ 分からない/回答が困難

保護者の肯定的回答は 87%であり、前回と比較して上昇がみられる。ホームページの更新頻度をあげたことがその要因ととらえている。引き続き学校からの情報発信に取り組み、保護者に学校の様子を分かりやすく伝えていく。

### 設問 18 給食・食育

生徒	給食だより等を通じて地場食材や食文化、食中毒予防等について知ることができている。
保護者	給食だより等を通じて地場食材や食文化、食中毒予防等について知ることができている。
教職員	地場食材や食文化の紹介、食中毒予防等を発信し、食に対する意識を高めさせることができている。

生徒	32	36	23	5	4
保護者	31	56	9	1	13
教職員	29	55	5	3	8

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ とてもあてはまる      ■ どちらかといえばあてはまる      (単位:%)  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない      ■ 分からない/回答が困難

前回と比較して、教職員の肯定的回答が大きく上昇した。毎月の給食だよりや給食での栄養士が献立紹介などが、本校における食育の充実に貢献しているものとする。

### 設問 19 ボランティア活動

生徒	ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。
保護者	お子さんは、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。
教職員	教職員は、生徒がボランティア活動に取り組むように啓発している。

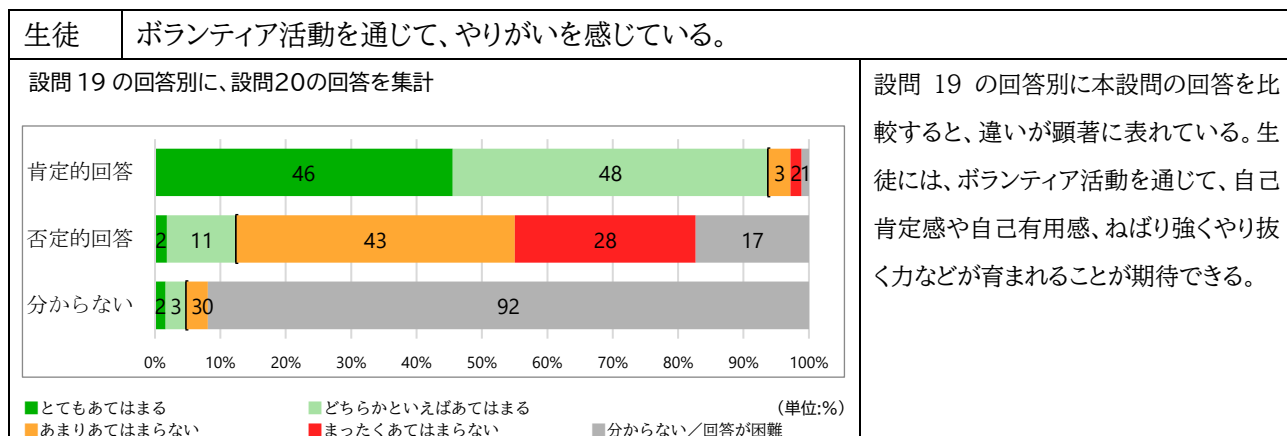
生徒	14	18	33	25	11
保護者	5	14	44	33	4
教職員	13	39	39	3	5

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

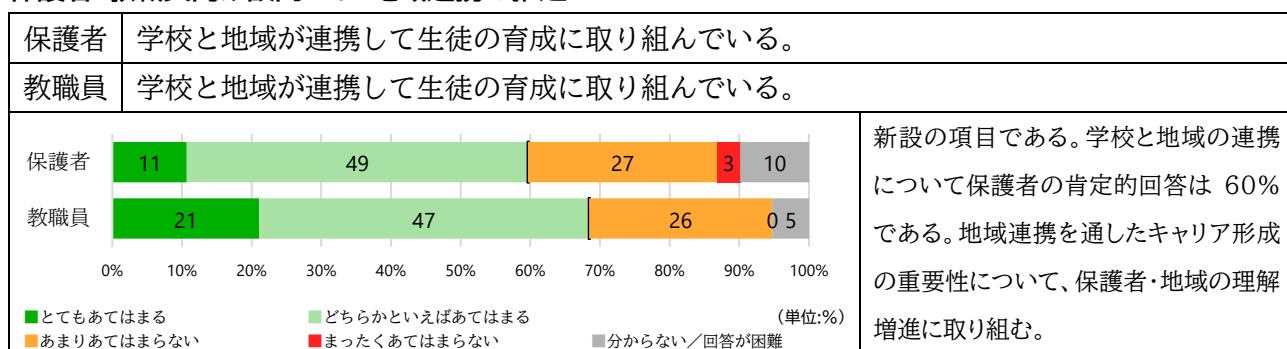
■ とてもあてはまる      ■ どちらかといえばあてはまる      (単位:%)  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない      ■ 分からない/回答が困難

前回と比較して、教職員の肯定的回答が大きく増加していることが変化として見られる。学校では、学校だより等を通じて社明運動等への参加などボランティア活動を啓発している。生徒・保護者がボランティア活動に関心をもてるよう、引き続き啓発に取り組む。

## 生徒向け設問 20 ボランティアのやりがい



## 保護者・教職員向け設問 20 地域連携の推進





## 保護者自由記述

- 先生方、いつもご指導、見守りありがとうございます。人生の中でも多感な中学生という時期を、親子と共に走ってくださる先生方、とても心強く思っております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。
- 子どもからの意見ですが、プールの女子更衣室が暑い・汚いのが辛いとのこと。教室以外での掃除対象の場所（玄関など）のように、プール更衣室も毎日掃除してほしい。エアコン設置は難しくても、せめて今壊れている換気扇を修理して空気が入れ替えられるようにしてほしい。
- 不登校の子ども向けに補習があると良い。
- 発達障害を理解しなくても、存在することを考えて欲しい。当然に出来る子と同じようにはなく、話を聞く姿勢を持ってもらいたい。その上でダメなものはダメ。良いものは良いと言葉にして欲しい。担任の先生はしてくれていて安心しているが、全ての先生にして欲しい。
- 放課後カフェなど地域との連携で交流の場があること、とてもありがたく、子供も楽しみに参加しております。感謝します。
- 酷暑の中登校している生徒さん達を見かけて、ジャージの上を着用していること、マスクをしていることに熱中症の不安を感じることがあります。お年頃ですし個々の判断に任せられているのであろうとは思いますが、特に1年生はもう少し誘導してもいいのかなと思いました。
- 様々な仕事をしている方からの具体的な体験談や仕事内容、どういう学校に行ってどんな道を歩んできたのかなど、挫折や失敗談も含めての話を聞くような授業などがあると子ども達がこれから将来自分がどんな職に就きたいかなどを選ぶ選択肢は増えるのかなと思います。
- 学校生活に適応出来ていない生徒(うちの息子の事です)が登校した時の様子を、たまに教えてもらえる仕組みがあると助かります。お忙しいところ恐縮ですが、学校と家庭で協力出来たら嬉しいです。
- 探求的な学習はどのようにして行われているのか、また ICT の効果的な活用について疑問がある。
- いつもありがとうございます。入学初期は慣れないことも多く中学のルールなど戸惑うことがおあったようですが、少しずつ行事や部活などを通して楽しさを見出しているようで安堵しています。ただ日々の勉強についていけないようです。定期テストも大事だとおもいますが、小テストなどで、本人がどの範囲が理解できていないかを把握することができるともっと日々の学習への意欲が向上するのではないかと思うことがあります。コロナも落ち着きましたので、生徒同士の対話の時間も増えることを願っております。
- 授業やテストが楽しく受ける事ができているのは先生方のお陰です。感謝しかないです。
- 授業中はマスクなしにしても良いと思います。テストはクラスと学年順位を出していただきたいです。
- まだ実際に発生している認識はありませんが、担任もしくは生徒によるいじめが発生した場合、学校および市教委は絶対に、矮小化や隠蔽をしないでください。子供が通っていた小金井市内小学校では都から派遣された臨時職員である担任によるいじめ・暴言を多数の保護者が解決を求めたにも関わらず校長が担任を強硬に擁護し、放置、隠蔽を行った結果、朝日新聞、読売新聞、TV で報道され、さらに都議から都人事局が、市議から文教厚生委員会が追及される大ごととなり、年度内に校長と担任が退職させられる事態となりました。くれぐれも宜しくお願いします。
- お疲れ様です。1年の保護者です。スマホの使用方法において「子どものネットリスク教育研究会（東京・八王子市）」の対応を検討願います。

- 担任の先生の学級だよりを楽しみにしています。ご指導ありがとうございます。
- 素直に学ぶ事に前向きに取り組んでいます。塾などにはまだ行っていません。向上する為には、具体的にどうすればいいのか繰り返し御指導お願いしたいです。
- 進路や受験についての指導を早い時期からやって欲しい
- 先生方には大変お世話になり心よりお礼を申し上げます。特に、担任の先生は、生徒1人1人の気持ちを大切に下さり、進路についても相談しやすいようにお話して下さるなど、あたたかいご指導に日々感謝いたしております。9教科の授業はとても素晴らしいようです。我が子は事情があり塾には通えないのですが、先生方のお話を参考に学習方法を自分自身で考える力が少しずつついて来ました。先生方はどんな質問にも丁寧にお答え下さるようです。また、配布して下さるたくさんの紙プリント類も学習意欲や理解力の向上にとっても役に立っているようです。本当にありがとうございます。部活動も週数回という頻度がとてもよいようで、楽しく参加させていただいているようです。顧問の先生方、お忙しい中、本当にありがとうございます。素晴らしい環境を与えて下さり、緑中の先生方に深く感謝いたします。
- 試験内容が難し過ぎると思います。
- 平和教育についてももう少し触れて欲しいと思います。被爆地で中学時代を過ごしていたので平和新聞作り、資料館などでの校外学習、他校との平和学習での交流会などがありました。平和について子供達の意識が低いのがとても気になります。
- 幼稚園、小学校の時とは違い中学校になると学校に出向く事が少なくなり学年の先生もあまり分からず、他学年の先生方は殆ど名前もお顔を知らなくなりましたが、息子のことを学校生活の中で見てくださってる先生方は皆さん温かくて笑顔でお話して下さり嬉しく思っています。今後ともよろしくお願い致します。いつも朝早くから夜遅くまでありがとうございます。
- 緑中の内申点のとりにくさ、評価のされ度合いが、近隣地域や市内他校との差が顕著なので実際の現状をみて子供達の将来（高校受験）を考えていただきたいです。
- いつもお世話様になります。学習と、部活について二点要望があります。  
まず学習について、息子については今は教室で授業を受けて、部活を行う事で精一杯。自学を行なっているもなかなか平均点を上回ることもない水準です。現在、志望校について調べ始めた段階ですが魅力的に映る学校は手が届きそうにないレベルです。そして都内の高校への知識もほぼない為、なんとなくどん詰まりのような心持ちでいます。ですので、いままでの緑中学校の進学への知見をより広く開放して頂く機会や、仕組みを作って頂きたいです。具体的には様々な特徴を持った生徒それぞれに向いているような学校をご教示頂けるような事です。目標を作ることで目指すこと、やるべき事が理解できる筋道が立てやすくなるかと思うのです。  
部活については、現在の部活動再登校の廃止のお願いです。率直に、「時間と労力の無駄」です。部活までの待機室を設けてみてはいかがでしょうか？要望ばかりとなりましたが、何卒ご検討の程宜しくお願い申し上げます。
- 先生方が総じてお忙しくお疲れがみで、時折体調不良になられている様子を子どもから聞いております。授業日数は減らせないにしても、部活動の日数や時間を軽減し、少しでも長い拘束時間を減らしていただくことが、ご指導の負担を減らす上で有効ではないでしょうか。現在、週4日活動している部活が週3日に、週3日のものが2日になっても、あるいは終了をせめて30分早めても、決して教育効果は損なわれるものではないと思います。長い目で見れば、先生方のご負担が今よりも少しでも軽い方が、生徒への指導はより充実したものとなると思います。ぜひご検討ください。

- 学校が好きです。ありがとうございます。
- 成績の教科ごとのパーセンテージを伝えてもらえると幸いです、そのようなことを気にかけて勉強すべきでは本来ないとは思いますが、家庭の事情で都立に行つて欲しいと伝えているので、少しでも子供の助けになればと思います。保護者会にはできるだけ参加しているのですが、体育館でのお話の時、マイクが響いて聞き取りにくい、又は聞き取れない先生がいるのが辛いです。
- 部活動に積極的に参加できるよう環境づくりをしてほしかったです。
- 高校受験に関する進路指導の開始が遅いと思います。生徒数も多いため仕方ないのかもしれませんが、塾や家庭での進路指導ありきになっているように感じます。
- 内申点の評価の仕方が、緑中は厳しすぎるように感じます。特に副教科は、先生の評価が影響し過ぎているように感じる教科があり不服に思います。
- いつも色々考えて対応して教育して頂いてありがとうございます。
- 部活動の顧問の先生の、生徒に対しての言葉にもっと気を付けてほしいです。「顧問は本当はやりたくないけど仕方なくやっている」「残業代出ないのだから、早くして」などの言葉は、思つてはいても先生が生徒に言うべきではないと思います。
- 子供が、3年間部活動で仲間と楽しさを味わう事ができました。部活動について意見があります。顧問の先生にもう少し関与していただけないでしょうか？また、やる気のない教員に顧問を任せるとの間違っていると思います。部活動では先生の都合で中止となつて活動が出来ないこともあり、練習時間が足りなかったもっと練習をしたかったと言つておりました。大人の固定概念が子どもの価値観を固まった方向に導いてしまうことのないよう今後も教育活動を充実して頂きたいです。
- 娘は幼稚園の時にピアスをしたい、と、自ら申し出てピアスの穴をあけたのですが、進路指導に際し、ピアスの穴をあけることがよくない、耳に穴が開いていることがよくない、と捉えられるような発言が気になっています。外国の子などなら許されているような空気感がるようです。先日の進路説明会でもピアスの穴に関しての発言があり、(確か、「耳に穴をあけたくなる年頃」？といった感じで、批判とかではなかったです)何か違和感を感じました。姉も在学中、ピアスの穴は進路に悪影響を及ぼすと言われ、耳たぶを軽く引っ張られたたことがあります。なんとなく、腑に落ちない部分です。
- インフルエンザやコロナ罹患で在宅になつた際、オンライン授業が受けられるようになるとういなと思ひました。
- 先日の修学旅行説明会、あれはオンライン開催は難しかったのでしょうか。対面でないと伝わらない内容だったとはとても思えません。いつも疑問に思ふのですが、先生方がされている事は、ご自分達が保護者の立場でも満足できる内容なののでしょうか。我が子の日々の様子を見ていて学校や先生方のことは信頼していますが、保護者の時間の使わせ方はちょっといかなものかと感じます。先生方が子ども達のために日々尽くして下さり、常にご多忙であることは承知しております。でも、保護者も暇で学校に行く訳ではありません。この後に予定されている三者面談・保護者会・学校公開など、楽しみにしています。引き続きよろしくお願ひ致します。
- 昨年、下校時に靴がなくなって困つたことがありますが、沢山の先生方が駆けつけていただき暑い中、懸命に探していただきました。ありがとうございました。不安で泣き出してしまった娘に沢山の先生方が入れ替わり立ち替わり、声をかけて慰めてくださったり、一緒に怒つてくれたり、励ましてくださったと聞きました。靴がなくなるなんて絶対にない方がいい事だけど、先生方の優しさ温かさを実感した出来事でした。ありがとうございました。

- 期末テスト前に、「実は勉強ちょっと困ってるんだよね…風邪ひいて学校休んでしまったから…」と娘に言われ…大変！とあわてました。3年生を前に1教科だけ塾に通う事にしましたが、困っているのは複数教科。ノート、教科書で娘と一緒に勉強しました。一緒に勉強して色々な事に気づきました。英語、数学、理科、社会では日々プリントを用意していただいて、たくさんの内容をスピーディーにたくさんの資料の活用や実験で勉強していること。国語では、この量の板書を1時間で全部？全クラスで？と驚きました。教科の特性上、流れるような言葉を文章として子供自身が書くことがとても大切だと思いました。どの教科も暗記し勉強するのは大変ですが楽しく勉強させていただいています。テストが終わり、授業後にもっと復習すればよかったなあ…と反省する事は多いけれど、塾なしでもあまり困らない力をつけてこられたのは、先生方の授業のおかげだと思っています。芸術系の科目では美術では授業でピカソ等について学んだ時、リボルバーと言う本で読んだ内容に近かったから楽しかった。とか、音楽で「ブルダバって知ってる？結構好きなんだよね。」と、モルダウは最近そう習うのね…と話題になり、「おばあちゃんがこの曲を好きだったからよく家で流れてたよ」と話す、娘がスマートスピーカーで曲をかけ、「あー、テスト前に曲を聞いてたらあの問題とれたなあ。」と言ってました。「学校で習ったら家で曲を聴いてみるのもいいね。読書や音楽鑑賞が祖母→親→本人と、つないでくれたり、芸術科目は人生を豊かにするね。」と娘と話しました。家庭科では、誕生から子供の成長の勉強では末っ子の娘は話題に事欠かず兄、姉から成長する間の腕白で面白いエピソード満載でテスト前で時間がないのに教科書を見ながらとても盛り上がりました。技術科は、「自分でも意外なんだけど…この科目好きで得意かも。」と、ラジオ製作の授業では理科で学んだ音や電気の知識使ったり、はんだごてを使うコツを楽しそうに話してくれました。体育の水泳では今までやった事のないバタフライ。テスト前でプールに連れて行って教える時間もないので、手のかき方だけ教えました。授業で体の動かし方やコツを教えていただき、初めてなのに25メートル泳げた事、男の子より早く泳げた事を嬉しそうに話してくれました。バタフライで自信がついたようで、バスケットボールの授業も、先生のアドバイスや見本を再現したら上手って褒めてもらったと得意そうに話してくれました。色々な競技を通して自信をつけ、積極的になってきた気がしています。
- テスト2週間前にオンライン授業のお知らせをいただきました。今回、幸いにもこの期間休むことがなく利用しませんが、すごくありがたく心強く、学校ってすごいな…と思いました。たくさんの先生方のひとつひとつの授業や、かけて頂く言葉や励ましが、生活面でも学習面でも子供の成長のきっかけになっていると実感しています。普段思っている、なかなかお礼をお伝えすることができないので、この機会に書かせていただきました。長々とした文章になり申し訳ありません。先生方のもとで学べるのもあと半年だと思うと寂しい気持ちになります。この期間にどんな成長ができるか、日々大切に過ごしたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。